

## 「2016年慶北大学校サマースクール参加報告書」

京都大学工学部3年 YOU YAHAN

8月8日から20日まで韓国の第四都市である大邱の慶北大学校で実施するサマースクールに参加しました。このプログラムに参加することを通じて韓国の伝統文化と大衆文化について色々考えました。

まず、韓国の伝統文化についてですが、韓服と茶道の体験で韓国文化に秘めている「静思」と「中正」の考え方を理解しました。「静思」というのは人が自然から由来するであり、自然に戻って雑念を捨てて思考することで、「中正」というのは相手のことを先に考えて平等に物事を扱うことを指します。この二つの考え方が韓国の茶道文化を支えています。また、慶北大学校のサムルノリとテコンドーのサークルを見学していろいろ体験しました。

それから、韓国の大衆文化についてですが、慶北大学校の学生とこの13日間ずっと一緒にいて、大学生のバイトや勉強や余暇の過ごし方などについていろんな話をしました。実際の韓国の大学生と一緒に食べたり、勉強したり、遊んだりすることはなかなかない経験で、このプログラムの一番よかったことだと考えています。これで、韓国の伝統文化だけではなく韓国の現代社会の大衆文化にも接触するようになりました。また、ゼミの時に韓国の大学生から韓国の食卓でのおもてなし文化について紹介してもらってうちは日本の日常生活のおもてなしについて発表しました。発表の後、両国の大学生が日本と韓国のおもてなしの共通点と相違点について熱々に討論しました。日本と韓国の間で共通点がいっぱいあることを意識する一方で同じアジアの国にしてもこんなに文化が違っているのを実感しました。

二週間の時間は短いですが、充実なスケジュールのおかげで、身を持って韓国でいろいろな伝統活動に参加し、韓国の大学生と一緒に生活し、社会現象などについて交流し、韓国の文化への理解を深めて非常に有意義な時間を過ごしました。